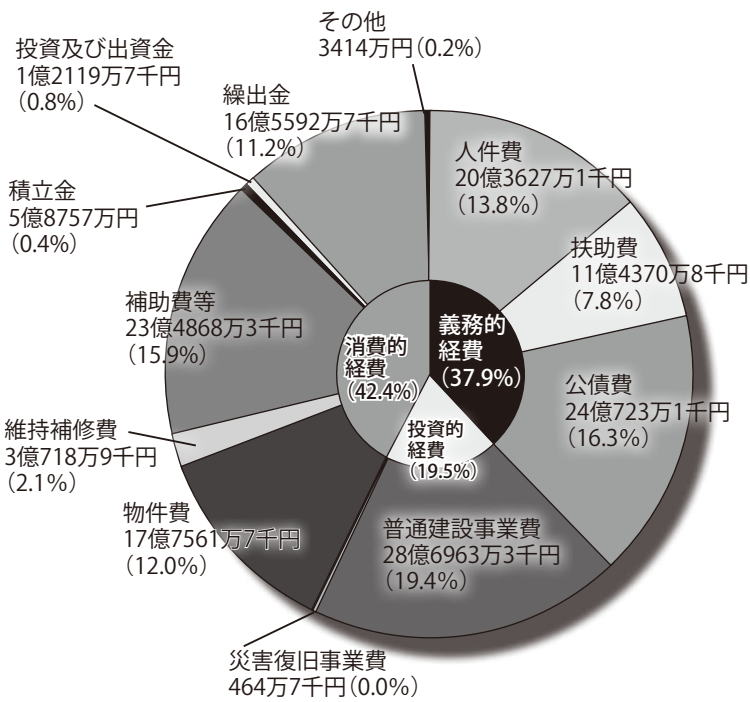
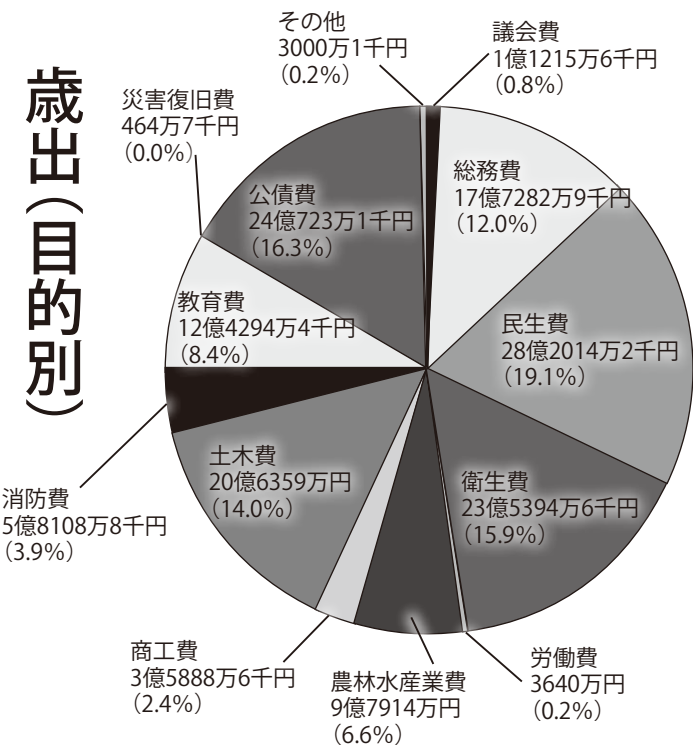


歳出（性質別）



歳出（目的別）



平成 29 年度当初予算は、27 年度に策定した第 2 次総合計画に掲げた「町民が自信と誇りが持てる町づくり」を目指し、防災力の強化や定住促進施策の充実、一次産業の活性化等、能登町創生をさらに推し進める予算となっています。ただし、町長改選期であることから、新庁舎、総合支所に関連する政策的経費は当初予算に計上しない、いわゆる骨格予算編成となっており、一般会計で 3 億 400 万円減（2.0% 減）の総額 147 億 6,300 万円となりました。

歳入では、町税が前年度並みの 16 億 3,355 万円を見込んでいます。

歳入全体の約 48%を占める地方交付税については、合併算定替の縮減により、前年度比 1 億 3,600 万円減の 71 億 5,900 万円を見込んでいます。

使用料及び手数料については、有線放送特別会計を廃止し、一般会計に統合したことで有線テレビ使用料、インターネット使用料が増加したことにより、1 億 5,738 万円増の 3 億 6,728 万円を見込んでいます。

国庫支出金・県支出金については、道路整備事業や都市計画事業などの増により、2,795 万円増の合計 17 億 6,761 万円を見込んでいます。

寄付金は、ふるさと能登町応援寄附（ふるさと納税）の増により、前年度比 5,000 万円増の 2 億 10 万円を見込んでいます。

繰入金は、1 億 9,579 万円減の 1 億 2,025

万円となりました。

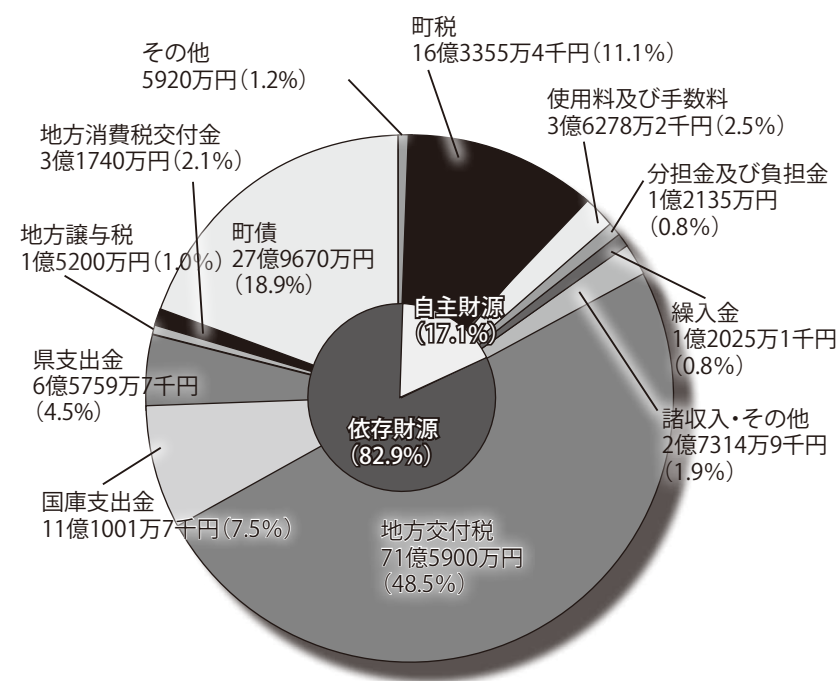
町債においては、消防庁舎建設事業やドブネ収蔵庫整備事業などの終了により 1 億 1,600 万円減の 27 億 9,670 万円となりました。借金である町債は、公共事業の地域経済への影響と公債費負担適正化とのバランスを考慮しながら、計画的な発行に努めています。

歳出では、人件費、扶助費、公債費の義務的経費が総額 55 億 8,721 万円となり全体の 38%を占めました。そのうち人件費については、非常勤職員の増などにより 8,307 万円増の 20 億 3,627 万円となっています。公債費は、地方債残高を減少させるための繰上償還金 2 億 1,920 万円を見込むほか、これまでの繰上償還の実施により 6,122 万円減の 24 億 723 万円となりました。

普通建設事業費は、4 地区で農村総合整備事業を行うほか、小間生公民館建設事業や小木地区都市再生整備事業、鶴川小学校土砂災害対策事業などで増額が見込まれますが、消防庁舎建設事業の終了により、前年度比 5,562 万円減の 28 億 6,963 万円となりました。

物件費や補助費等を含む消費的経費は、前年度より 2 億 9,559 万円減の総額 62 億 7151 万円となりました。そのうち繰入金では、有線放送及び観光施設特別会計を廃止したことに伴い 8,176 万円減の 16 億 5,593 万円となっています。

歳入



◆地方債残高

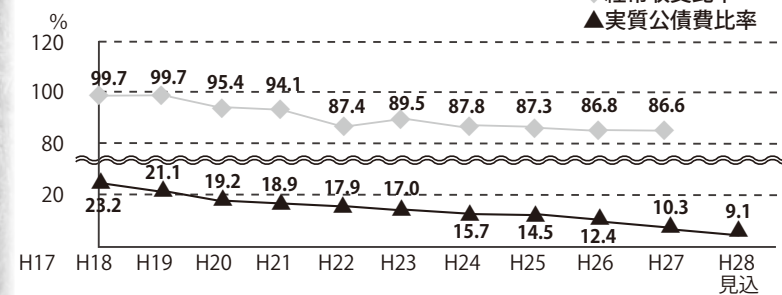
区分	平成 28 年度末（見込）	平成 29 年度（見込）
一般会計	210 億 5235 万 3 千円	216 億 140 万 2 千円
特別会計	88 億 3661 万 4 千円	85 億 4345 万 7 千円
企業会計	51 億 8139 万 8 千円	48 億 9226 万 6 千円
計	350 億 7036 万 5 千円	350 億 3712 万 5 千円

※簡易水道特別会計分の地方債残高は、特別会計より企業会計に移管

◆基金総額

区分	平成 28 年度末（見込）	平成 29 年度（見込）
一般会計	71 億 9266 万 3 千円	71 億 3117 万 1 千円

◆財政指標の推移



一般会計予算

147億6,300万円
(前年度比 3 億 400 万円減)

扶助費：社会保障制度の一環として、生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づき、生活を維持するために支出される経費や各種扶助の経費
公債費：町債の元利償還金及び一時借入金の利息の合算額
普通建設事業費：道路、学校など公共用または公用施設の建設事業に要する経費
物件費：需用費（消耗品等）、役務費（郵便料、火災保険などの保険料等）、備品購入費など
補助費等：各種団体への補助金や奥能登クリーン組合、宇出津病院への負担金など
繰入金：一般会計と特別会計または、特別会計相互間で支出される経費。
【財政指数等】
基金：特定の目的のために資金を積み立てたり、定額の資金を運用するために設けられる資金または財産
経常収支比率：財政の弾力性を示す指標。数値が低いほど自由に使えるお金が多い。
実質公債費比率：普通会計に企業会計や一部事務組合も含めた実質的な公債費への財政負担の程度を示す指標。

【歳入】
自主財源：町税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、繰入金、諸収入など自主的に収入しうる財源
依存財源：地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税、地方債など、国や県により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入
町税：町民税、固定資産税など、皆さんが納めた税金
繰入金：町の基金からの繰入金
諸収入：町税の延滞金など他の収入科目に含まれない収入
地方交付税：地域間の税源の不均衡を調整し、すべての地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるようにするために、国が地方公共団体の一般財源として配分する税
国庫支出金・県支出金：各種事業に対する国・県からの補助金など
町債：資金調達などの長期借入金
【歳出】
人件費：議員報酬、各種委員報酬、特別職給与、非常勤含む職員給など

会計別予算と

主要施策

区分	予算額	増減
一般会計	147億6300万円	△2.0%
特別会計	74億7346万2千円	△13.0%
国民健康保険	30億7453万円	△4.5%
保険事業勘定	30億6808万7千円	△4.5%
直営診療施設勘定	644万3千円	△10.5%
後期高齢者医療	2億8995万3千円	△3.9%
介護保険	29億5116万5千円	0.9%
保険事業勘定	29億3024万円	0.7%
サービス事業勘定	2092万5千円	27.4%
公共下水道事業	6億2456万8千円	△5.6%
農業集落排水事業	4億1553万8千円	△4.4%
漁業集落排水事業	4396万5千円	1.4%
浄化槽整備推進事業	7374万3千円	15.6%
企業会計		
水道事業会計	13億0865万1千円	50.0%
収益的支出	7億1823万9千円	46.0%
資本的支出	5億9041万2千円	55.1%
病院事業会計	29億9550万9千円	3.4%
収益的支出	25億9313万2千円	5.5%
資本的支出	4億0237万7千円	△8.3%
予算合計	265億4062万2千円	△3.2%

※平成28年度末をもって3会計が廃止に。平成29年度から有線放送特別会計と観光施設特別会計は一般会計に、簡易水道特別会計は水道事業会計に統合する。

①自然環境との絆を大切にしまちづくり

海洋教育推進事業

4, 200千円

▽小木小学校をモデル校とする、海洋教育拠点校推進事業

②誰もが住みたいと感じる地域が一体となったまちづくり

のとキラシマツツジ振興費

23, 852千円

▽町花「のとキラシマツツジ」の普及・振興を図るため、柳田植物公園内「のとキラシマツツジ園」整備を前倒しし、今年度の完成をめざす。

海岸保全施設計画策定

11, 500千円

▽町内の漁港海岸の保全計画を策定する。今年度は松波海岸保全施設長寿命化計画を策定

社会資本整備総合交付金事業

345, 142千円

▽改築6路線、交通安全対策1路線、橋りょう補修3路線、落石対策1路線、消雪設備整備1路線、橋りょう・トンネル定期点検、トンネル補修、除雪ドーザ2機購入

を継続。教育の拠点施設となる「海洋教育研究センター」の整備に向けた基本計画を策定する。

地方創生道整備推進交付金事業

363, 700千円

▽改築11路線、側溝改修9路線、舗装12路線

駅山手線街路整備事業

158, 712千円

▽市街地の回遊性向上を図るため、街路整備を継続

小木地区都市再生整備事業

267, 920千円

▽道路改良のほか、観光交流施設を整備。交流人口を呼び込み、住みたくなるまちづくりを進める。

のと里山空港利用促進事業

28, 245千円

▽首都圏向け団体ツアーが見込まれるため誘客促進事業で増額計上。羽田空港経由での乗継に助成を上乗せ（大人2千円、小人1千円）

防災総務費

29, 683千円

▽地域防災力向上のため、防災士と自主防災組織を育成。津波ハザードマップ更新や職員緊急連絡システムを導入するなど体制を強化

衛生センター施設改良事業

541, 193千円

▽維持管理経費の削減を図るため、し尿・農集排・漁集排・浄化槽汚泥を衛生センターから公共下水道に希釈投入する。今年度完成予定

③地域の魅力を生かしたしごとづくり

り人材育成や起業の掘り起こしを目指す。

創業・継承支援事業

15, 766千円

▽U・Iターンの者の町内での創業と継承を支援する。

鳥獣被害防止対策事業

8, 859千円

▽鳥獣被害対策実施隊を結成して体制を強化するほか、捕獲檻購入費用を補助する。

ブルーベリー振興対策事業

21, 986千円

▽農家がすぐに収穫できるようにするため、ブルーベリー普及センターで苗木をポットで育成し、販売する。

高品質化機械導入事業

2, 208千円

▽共同利用や農産物の高品質化に資する生産施設・機械の

④健康で心に豊かさを持てる人づくり

福祉人材再就職支援事業

1, 000千円

▽介護人材の確保を図るため、一旦離職している介護職に再就職に係る準備金を給付

子ども医療費給付事業

34, 430千円

▽15歳から18歳までの子どもの医療費自己負担分を現物給付し、疾病の早期発見・治療を促進する。

児童福祉事業

1, 350千円

▽プレミアムパスポート事業

氏がパーソナリティをつとめるラジオ30分番組を制作する。「のっとりん」をイメージした公用車を購入し、出向宣伝などに活用する。

を行う「子育てにやさしい企業推進協議会」負担金を増額。対象児童数を3子以上から2子以上へ拡大

公立認定こども園運営費

106, 956千円

▽年収にかかわらず第2子の保育料を半額、低所得者世帯第2子は無料。3保育所で土曜午後保育を実施

次世代育成支援対策事業

2, 323千円

▽産前産後子育てヘルパー制度を継続し、つわりや産後うつなど支援が必要な妊産婦の負担を軽減。赤ちゃんステーションを「コンセールのと」などに2箇所新設

病院事業

525, 986千円

▽看護師・医師に加え、薬剤師修学資金制度を創設し、人材確保対策を強化する。



RESASワークショップ

1, 221千円
▽能登高生、インターン生、社会人によって昨年度行われた「RESASワークショップ」で生まれた3つの政策実現に向け、「能登高カフェ」「メディアキャンプ」「インターンシップ受入体制構築」によ



農業委員会委員 および 農地利用最適化推進委員

を募集します

農業委員会等に関する法律の改正により、
農業委員会が7月20日から新体制に移行す
るため、農業委員および農地利用最適化推進
委員を募集します。

○農地利用最適化推進委員

対象者

農地利用最適化の推進に熱意と識見を有する者で、担当地区内において、
担い手への農地の集積や遊休農地の発生防止・解消等の活動ができる者

定数 23名（下表の区域から各1名）

区域名	区域の詳細	区域名	区域の詳細
第1区	姫、真脇、羽生、大沢、小浦、羽根	第12区	上長尾、小間生、桐畑、鈴ヶ嶺、久田
第2区	宇出津、宇出津新、宇出津山分、 崎山、宇出津新港、藤波	第13区	上町、天坂、寺分、五郎左工門分、 合鹿、
第3区	藤ノ瀬、曾又	第14区	中斉、神和住、斉和
第4区	宇加塚、鶴町	第15区	当日、大箱
第5区	猪平、波並、黒郷、矢波、吉野	第16区	黒川、北河内
第6区	七見、鶴川、小垣	第17区	松波、恋路、明生、布浦
第7区	柿生、瑞穂、俎倉、	第18区	上、滝之坊、田代、駒渡、福光
第8区	山田、本木、武連	第19区	宮犬、不動寺、行延
第9区	宮地、鮭尾、太田原、柏木	第20区	時長、山中、満泉寺、国重、泉
第10区	柳田、五十里、十郎原	第21区	九里川尻、秋吉、河ヶ谷、清真
第11区	笹川、石井、国光、鴨川	第22区	立壁、四方山、白丸、内浦長尾
		第23区	小木、市之瀬、明野、越坂、新保

任期

農業委員会から委嘱された日～平成32年7月19日

報酬 月額5,000円に、活動実績に応じた額（上限6,000円）を加えた額

○農業委員

対象者

農業に関する識見を有し、農地の利用の最適化に関する
事項、その他農業委員会の所掌に属する事項に関し、その
職務を適切に行うことができる者および利害関係がない者

定数 12人

任期 7月20日～平成32年7月19日までの3年間

報酬 月額＜会長…12,000円、副会長…9,000円、
委員…8,000円＞に、
活動実績に応じた額（上限6,000円）を加えた額

応募方法

自薦、または他薦とします。応募・推薦方法の詳細は、農業委員
会事務局に備え付けてあります。また、町ホームページからもダウ
ンロードできます。両方に応募で
きますが、兼務することはできま
せん。

応募受付期間

4月3日(月)～28日(金)

※郵送の場合は必着

公表について

応募者の状況は、4月15日頃
から町ホームページで公表しま
す。

推薦書および応募申込書提出先

（お問い合わせ先）

町農業委員会事務局

☎76-8303 FAX76-0039



⑤ 地域を通して共に学び、町の未来を担う人づくり

鶴川小学校土砂災害対策事業

59,968千円

▽避難所に指定されている鶴
川小学校の後背地で急傾斜地
崩壊対策工事を実施。

能登高等学校魅力化事業

36,961千円

▽制服購入や通学補助などこ
れまでの支援に加え、「まち
なか鳳雛塾」の内容充実につ
とめる。

小中学生各種大会派遣事業

8,300千円

▽中学校の公式大会参加時の
交通費等を全額補助する。

部活動遠征費

13,000千円

▽中学校の練習試合等のバス
借り上げ経費について一部補
助する。

授業用PC更新事業

15,518千円

▽小学校校務用パーソナルコ
ンピュータの更新にあわせ、
授業に使用しているデジタル
教科書にも併用できるように

整備する。

小間生公民館建設事業

231,393千円

▽築57年を経過し老朽化が激
しい小間生公民館を、久田和
紙体験施設や地区集会施設の
複合施設として改築する。

アスリート強化支援事業

403千円

▽町出身のオリンピック誕生
を目指し、活躍が期待される
アスリートを支援する。

全日本学生ソフトテニス

選手権大会

7,248千円

▽12年ぶりに開催される全日
本学生ソフトテニス選手権大
会（インカレ）の運営関連費
用

藤波運動公園管理費

61,575千円

▽インカレの開催を控え、テ
ニスコート設備を改修し、全
国から集まる選手が気持ちよ
くプレーできる環境を整え
る。錦織圭選手と松岡修造氏
から藤波テニスミュージアム
にウェアやラケットなどが寄
贈されたため、展示に要する
設備を整える。

⑥ 地域の絆を深め、住み続けたいくなるまちづくり



定住促進事業

31,946千円

▽移住希望者の窓口である定
住促進協議会の設置のほか、
空き家の家財道具処分費用助
成や、移住者の新築住宅購入
および中古住宅改築に助成し
て定住者増をめざす。

定住促進助成金

1,000千円

▽新規学卒者、U・Iターン
者などが町内企業等に雇用さ
れた場合、申請年と翌年の2
カ年、各5万円を助成

空家対策推進事業

8,864千円

▽空家等対策計画策定のほ
か、空家解体を補助
借上町営住宅事業

25,344千円

▽移住者向け住宅不足を解消
するため、民間業者が建設し
た賃貸住宅を町営住宅として
借り上げ、転貸する。

公営住宅整備事業

104,037千円

▽城野住宅建設、梅ノ木団地
解体・外構整備ほか

合宿等助成事業

9,777千円

▽教育旅行・ゼミ・文化・ス
ポーツ合宿及び全国規模の大
会誘致による交流人口の拡大
及び町内宿泊施設等の活性化
を図る。

立壁集会所整備事業

25,080千円

▽立壁地区に集会所を整備

⑦ わかりやすい行財政と
情報の共有によって、
つながるまちづくり

ふるさと能登町応援寄附事業

154,764千円

▽ふるさと納税に関する事務
費や広告料など。今年度の寄
附額は2億円と見込む。



にっぽん縦断こころ旅

「思い出の場所、風景」の

お手紙募集



火野正平さん（写真提供：NHK）

NHK—BSプレミ
アムで放送予定の「につ
ぽん縦断こころ旅・
2017春の旅」。3月
27日、四国の高知県を
スタート。愛媛、広島、
岡山、兵庫、京都から
日本海に抜け、福井、
石川、富山、新潟と日
本海を北上し北海を目
指します。

石川県の放送予定

5月29日(金)～6月2日(金)

応募期限

4月17日(日)必着

記載内容

住所、氏名、電話番号、性別、年齢、
思い出の場所、風景にまつわるエピソード

応募方法

・番組ホームページ

http://www.nhk.or.jp/kokorotabi/

・FAX 03-3465-1327

・郵送 〒150-8001 NHK「こころ旅」係

〒NHKふれあいセンター

または ☎0570-066-066